

2013年05月01日

第9回現地見学会開催報告

KSCD事務局

第9回現地見学会の開催

京滋コンクリート診断士会では、今年度の主要行事の一環として、去る4月23日に第9回現地見学会を以下のとおり開催しました。当日は38名のご参加を頂き、盛況裏に終了できました。

ご出席頂きました皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。

目的：コンクリート構造物の診断技術向上のための施設見学と体験学習

日時：平成25年4月23日（火） 午後2時～午後4時

会場：国土交通省近畿技術事務所

講師：京都大学大学院 工博 河野先生（本会顧問）

概要：近畿技術事務所内の土木構造物検査技術研修施設を利用して、目視、打音、鉄筋探査、ひび割れ深さ測定など約2時間掛けて体験学習しました。現場経験の少ない方にとっては有意義な体験になったことと思います。

研修の最後の質疑応答では、河野先生よりコンクリート標準示方書の改訂にあたり、コンクリートライブラリーを読んで、改訂の理由・背景などを知っておくことが重要であるとのことをご指導を戴きました。

見学会、体験学習の様様



▲技術事務所講堂にて開会



▲検査技術研修施設内部にて



▲実物 C-BOX にて変状探査

- 本施設は国や地方公務員の方々の、技術力向上のための研修施設であり、原則として民間には公開されていない施設です。
- 今回の企画に当たっては、昨年末から長谷川会長のご尽力により交渉を重ね、新年度早々に本会の見学会が開催可能となった次第です。
- 近畿技術事務所の杉若副所長、塩屋課長、富吉専門職をはじめ品質調査課の方々には大変お世話になり、施設の紹介や診断機器貸し出しまでして頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。
- 参加頂いた会員の皆さまにおかれましては、今回の体験学習を活かして、適切なコンクリート構造物診断が行えるよう、日々研鑽されるようお願いします。

KSCD事務局 山口